

北海道大学病院に通院中の患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 機械学習を用いたバンコマイシン初期投与設計アルゴリズムの構築

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院薬剤部 部長 菅原 満

[研究の目的]

機械学習は、大量のデータをコンピュータが反復学習し、隠れた規則性を見出すことで予測モデルを構築する手法であり、病気の予後予測などに活用されています。機械学習を利用することで、様々な分野において予測モデルの構築が可能となることから、新しいアプローチとして現在注目されています。

本研究では、機械学習を用いて抗菌薬であるバンコマイシンの適切な初回投与方法を決定するアルゴリズムを構築し、その精度を検証することで薬剤投与設計への機械学習の利用可能性を検討することを目的とします。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2011年11月～2019年3月に当院において入院中にバンコマイシンが投与され、かつ投与期間内に当院薬剤部で治療薬物モニタリング(TDM; Therapeutic Drug Monitoring)が実施された18歳以上の方を対象とします。

○利用するカルテ情報

年齢、性別、身長、体重、病歴、診断名、治療歴、入院病棟、入院診療科、併用薬、血清クレアチニン値、シスタチンC、バンコマイシン投与量、投与期間、バンコマイシントラフ値、投与から初回トラフ値採血までの日数、バンコマイシン目標トラフ値

[研究実施期間] 実施許可日～2021年3月31日(登録締切日：2019年3月31日)

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定

できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 12 条西 6 丁目

北海道大学大学院 薬学研究院 今井 俊吾

電話 011-706-3978 FAX 011-706-4984